

《 野菜の収穫を体験しよう♪ 》

子どもたちの嫌いな食べ物の上位のほとんどが野菜であることにショックを受け、すこしでも子どもたちに野菜を好きになってもらえないだろうかと思い、このイベントを企画しました。

(日 時) 2010年8月28日(土)

(場 所) 甲山農地

(参加者) 11家族(子ども18名・大人18名)

(学生スタッフ) 6名

イベント内容は「野菜クイズ・虫紹介・収穫体験・うちわ作り・絵葉書作り・試食」を1日でたっぷり楽しむという内容にしました。

まずは収穫する野菜について事前にしっかり知ってもらう為に、野菜の原産地や野菜に含まれる水分量についての問題をクイズ形式にして行いました。



次は虫紹介をしました。甲山農地の野菜は完全無農薬で育てられています。野菜に食害を与えたり、食害を与える虫を食べてくれたり、受粉のお手伝いをしてくれたり、いろんな生き物がいることを説明しました。



収穫方法を説明した後、実際に野菜を収穫してもらいました。今回のイベントは夏の終わりの時期であったため、キュウリとミニトマトの収穫時期と少しずれてしまい、あまり収穫することができませんでしたが、ナスやサツマイモを収穫してもらいました。



収穫の後は野菜の葉っぱを使って、オリジナルの絵葉書やうちわを作成してもらいました。みんな夢中になって作業していて、すてきな絵葉書やうちわが完成しました。



最後は収穫した野菜の試食を行いました。取れたてのナスやキュウリの浅漬けやスイカを味わっていただきました。



イベント終了後にアンケートを行ったのですが、「自分たちで収穫した野菜はおいしかった」「とれたての野菜は新鮮で甘い!」「嫌いだったトマトが食べれたよ」と言っていて、大変喜んでいただきました。

《どこからきたの？野菜たち？みんなで食を考えよう》

このイベントは、フードマイレージについて知ってもらい、フードマイレージを意識して生活することで、少しでも近くの地域や国産の食材を選ぶび、地産地消のをするきっかけになればと思い企画しました。

(日 時) 2010年11月6日(土)

(場 所) 甲山農地

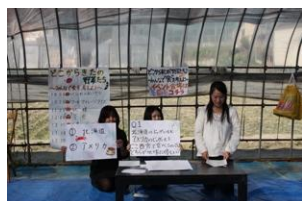
(参加者) 5家族(子ども10名・大人6名)

(学生スタッフ) 6名

イベント当日はフードマイレージクイズ、収穫、お買い物ゲームという内容で行いました。

フードマイレージとは食糧の輸送に排出される二酸化炭素の環境負荷の度合いを算出する指標です。

まず最初に行ったフードマイレージクイズでは、食糧自給率について、国旗カードの並び替えをしながら家族ごとに答えを考えていただきました。みなさん積極的に考えてくださり、とても盛り上がりました。



次は実際に収穫を行いました。大根・小松菜・水菜・サツマイモなどたくさんの野菜を収穫しました。



ランチタイムには取れたての野菜の美味しさを知っていただくために農地で収穫した野菜をたっぷり使った豚汁と焼き芋を食べてもらいました。



食後はお買い物ゲームを行いました。カレーライスを作る設定で、まずは産地や値段が書かれたカードを使って食材を選びます。そして選んだ食材についてフードマイレージの単位である poco の計算を行ってもらいました。どのご家族も輸入食材よりも国産食材を選び、poco の値を意識してくれたため、値がとても小さくなりました。



イベント終了時におこなったアンケートでは「今まで何も気にせず買い物をしていたが、これからは気をつけようと思う」という内容が多く見られ、保護者の方にも参加してもらった事で、食卓にしっかり反映していただけるのではないかと思います。

フードマイレージを楽しく学んでもらうようにするのが難しかったのですが、何度も話し合いを重ね、学ぶことを重視した「クイズ」、体験してもらうことを重視した「収穫」、楽しむことを重視した「ゲーム」の3つをバランスよく行うことが出来たと思います。



《西宮家の食卓～地域のおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に料理しよう！》

私たちは世代間の交流を通して、地域の「つながり」や「絆」を深めるため、高齢者・親・子どもの3世代が交流できる場を提供するイベントを行いました。

(日 時) 2010年10月3日(土) / 12月11日(土)
(場 所) 西宮市立中央公民館 / 神戸女学院大学内
(参加者) 10家族(子ども10名・大人15名)
(学生スタッフ) 6名

私たちは世代間交流という観点から、高齢者・親・子どもの3世代が交流できる場を提供するイベントを行いました。

第1回目は料理イベントを行いました。グループは高齢者・親・子どもの三世代に学生スタッフを加えて1つの班を構成し、各班で一品ずつ違う料理を作りながら交流を深めてもらいます。

メニューはメインの肉巻き、きんぴらごぼう、ひじきの煮物、サラダ、豚汁、そしてデザートです。

皆さん、最初は緊張していましたが、料理を始めると自然に会話がうまれ、交流のきっかけになっていました。



すべての料理が完成するといよいよ食事の時間です。食べながら、おしゃべりをして、大勢で食事をする楽しさを感じて頂けました。



その後のお楽しみ会では、西宮に関するクイズやジェスチャーゲームを行いました。この時間もチームごとに取り組んでもらったので、チームの絆が生まれていました。



1回目のイベント後のアンケートで2回目してほしいとの要望があり、第2回目のイベントを神戸女学院大学で行いました。内容は自然散策とその後昼食を兼ねた茶話会でした。

散策では子どもたちは落ち葉や松ぼっくりを拾って楽しんでいましたが、この間も高齢者と子供達の間で自然と交流ができていました。



この2回のイベントを通して、多くの人と出会い、共に過ごす機会を得、大きな収穫となりました。

